

(一財)札幌市環境事業公社 情報誌 第17号

アンパス

un pas

フランス語で「一歩」の造語。一歩一歩お客様との絆を深め、
ともに環境への理解を深めるという意味を込めました。



鷺尾 静雄 作

「アンパス」第17号をお届けいたします。

今号は、北海道胆振東部地震発生時のごみの収集状況と、公社事業として行っている調査研究、WEBサポートサービスの開始についてのお知らせを掲載しています。

本誌に対する皆様のご意見等がございましたら、ぜひお寄せください。

北海道胆振東部地震の ごみ収集を振り返って

昨年9月6日に北海道胆振東部地震が発生した後の、ごみの収集状況等を報告いたします。

地震発生直後からの対応

平成30年9月6日午前3時7分に発生した北海道胆振東部地震（最大震度7）から、3月で半年が経過しました。

札幌市内でも震度6弱が観測され、地震発生後、北海道全域で停電となり、道路の信号機もほとんどが消灯し、公共交通網が麻痺した状況でした。

当公社の事務所も停電となり、電話やコンピュータシステムがダウンし、水道やトイレも使用できない状況でしたが、朝早くから出勤できる職員が徒歩等により集まり、札幌市や関係先と連絡を取り合いながら、情報収集にあたりました。

その結果、ごみ収集車は、運転手や作業員の出勤状況から、通常時の稼働台数の約4割の車両が走行できること、市内3ヶ所ある清掃工場のうち、発寒清掃工場が搬入可能であること（1ヶ所は定期整備期間中で受入停止）を踏まえて、安

全を最優先に収集可能な多量排出事業所を中心に可能な限りのごみ収集作業を開始しました。

そのなかで、収集現場からは無線等で東区や清田区の二部で道路が陥没している場所があるなどの情報が刻々と寄せられてきました。



東 15 丁目・屯田通の道路陥没

燃料確保への対応

6日の夕方には、当公社の事務所のある札幌市内都心部を中心に電力が復旧しましたが、次に発生した問題は、ごみ収

集車の燃料確保への対応でした。

ごみ収集車は、通常、収集作業を終えると、燃料を満タンにして翌日の収集作業に備えておりますが、停電の影響で休業のガソリンスタンドがあるなか、取引先のガソリンスタンドの協力を得て、なんとか優先的に燃料確保の目的が立ちました。



清田区の液状化現象

1日収集量が過去最大

本格的なごみ収集作業の再開は、札幌市内の電力が概ね復旧した8日からとなりましたが、食品スーパーやコンビニなどから停電の影響で販売でなくなった冷

凍・冷蔵食品や乳製品など多量の食品廃棄物が一度に排出されました。

この日は、朝7時から収集を開始し、通常稼働時の3割の台数を増車して対応に当りましたが、夜7時過ぎまで収集作業は続き、約1,400トンのごみを清掃工場等の処理施設へ搬入しました。



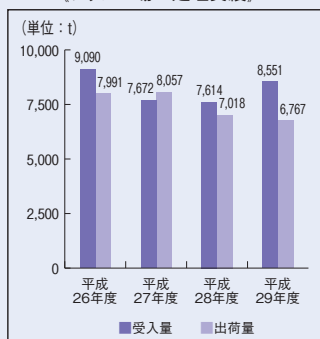
清掃工場への搬入風景

この量は、1日の搬入量としては、過去最大で、通常の土曜日の約3倍に当ります。

今回の対応では、「こんな時にもごみを収集してもらい助かっている」など、励ましや感謝の言葉をいただきながら収集作業を継続することができました。しかし、ごみが収集できずにご迷惑をお掛けした事業所もあり、この場をお借りして改めてお詫び申し上げます。

今後も使命感をもって、ごみの収集運搬に努めてまいります。

《チップ工場 処理実績》



会社では、篠路破砕工場敷地内において、剪定枝等処理事業を行っています。例年、7千トン以上の街路樹等の剪定枝や幹・伐根を受入れて、破砕処理を行い、6,500トン以上を剪定枝チップとして生産し、堆肥原料・畜舎の敷きわら・木質燃料として販売しています。

通常は、需要と供給のバランスを保ち

剪定枝チップの 需要に関する調査

札幌市環境事業公社が調査・啓発事業として行っているリサイクルに関する調査研究について紹介致します。

公社事業紹介

チップ工場 施設紹介



チップ工場は、主に良質な建設系の廃木材を再利用しパーティクルボード（集成材）の原料を生産するための工場として、札幌市が昭和63年に建設しました。

その後、「廃木材チップ化事業」として運営を行っていましたが、平成16年以降、当施設への搬入量が激減したため、平成19年3月に事業を廃止し完全休業となっていました。

平成20年9月、札幌市リサイクル団地内で剪定枝等処理事業を行っていた株式会社札幌リサイクル公社の廃業が決まり、札幌市からの要請で剪定枝処理事業を引継ぐことになった当社が、札幌市が所有する施設を借受けて、再びチップ工場を「剪定枝等処理施設」として稼働させ、現在に至っています。

剪定枝チップは、1トンあたり515円（消費税込・当施設渡し）で販売しております。個人販売も受付けておりますので、ご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

施設概要

施設所有者：札幌市
施設名称：（一財）札幌市環境事業公社 チップ工場
TEL 011-791-6770 FAX 011-791-6771
所在地：札幌市北区篠路町福移 153 番地
（篠路破砕工場敷地内）

受入する基準：

街路樹などから発生した剪定枝及び幹や伐根のうち次のもの

1. 幹は直径80cm以下で、長さが2m以内の樹木（剪定枝等）
2. 根は最大寸法（直径・長さ）が1m以内の土を落としたもの
3. リサイクルに適したもの（毒のある樹木、刈草・葉等は不可）

※基準を超える樹木の搬入は事前にご相談ください。

受入料金：10kgにつき123.1円（消費税込）

有効利用のための 舗装材サンプルの製作

今年度は、有効利用の調査として、ウツ

ながら年間計画に基づき運営を行っておりますが、造成工事の増加や台風などによる倒木の大量発生など、当初の計画以上に受入量が増加した場合などは緊急に、出荷を増加させなければなりません。そのような場合に備えるため、平成29年度に札幌近郊の剪定枝チップの需要調査を行い、公社が生産するチップに興味を示すバイオマス発電事業者や舗装関連事業者とヒアリングを行つたなどし、今後の取引のための協議を行いました。

ドチップ舗装の施工実績のある事業者と協力をいただき、剪定枝チップ舗装材のサンプルを製作しました。

サンプルは、通常チップや幹主体チップなどを使用した検体で、それぞれ30cm角の厚さ4cmで製作しました。

弾力性試験においては、人工芝やゴムチップ舗装程度の弾力があることが判り、歩行者用の舗装材としての適用が考えられます。

今後は実用試験を行つたなど、幅広く、剪定枝チップの有効活用を目指して調査研究を継続する予定です。



剪定枝チップ舗装サンプルの作成状況

お知らせ ～ WEB サポートサービスの開始について～ 「年間収集実績の提供」

当会社では「ID・パスワードを用いたログイン方式による顧客情報サービス（WEB サポートサービス）」による「収集実績一覧」の情報提供を開始しました。

【WEB サポートサービスの特徴】

- ・ ID とパスワードによるログイン方式を採用。
- ・ 公社ホームページの専用バナーから簡単にアクセス。
- ・ ダウンロード形式は PDF とエクセルの 2 種類から選択。
- ・ エクセル形式を選べば、収集実績一覧を編集することが可能。

収集実績一覧					
請求先	00A00001 環境ビル	中央区北1条東1丁目			
振出先	00012345 環境ホールディング	中央区北1条東1丁目			
振出年月	一般ごみ(m)	資源物ごみ(m)	飲料缶(m)	重量(kg)	生ごみ(m)
18/04	280.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/05	282.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/06	316.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/07	302.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/08	282.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/09	238.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/10	226.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/11	302.00	0.00	0.00	0.00	0.00
18/12	308.00	0.00	0.00	0.00	0.00
19/01	220.00	0.00	0.00	0.00	0.00
19/02	312.00	0.00	0.00	0.00	0.00
19/03	282.00	0.00	0.00	0.00	0.00

WEB サポートサービスによる年間収集実績のご利用条件は、公社と契約している事業所で札幌市に「廃棄物減量計画書」を提出する目的であればお申込みが可能です。詳細は電話でお問い合わせください。

お問い合わせ先 札幌市環境事業公社業務部 営業課 ☎ (011) 219-5353

今回号をもって廃刊いたします。

このたび、当会社の情報誌「un-pas」を今回発行の第 17 号をもちまして廃刊いたします。

「un-pas」のタイトルは、フランス語で「一歩」という意味で、その名の通り、お客様と当公社との間の「掛け橋」の役割を「一歩・一歩」果たすことで、「信頼」の礎になることの希望を込めて名付けたものです。

この情報誌により、廃棄物の分別・リサイクルの推進、地球環境への貢献など幅広く普及啓発をするとともに、質の高い事業を展開することの一助となることを期待し、平成 15 年から発行して参りました。

発行開始から 16 年間の経過しましたが、SNS などインターネットの普及で情報を素早く得ることができるようになりましたので、これを機に、郵送による紙面での情報提供を見直して、より多くの情報を発信するために、当公社のホームページを利用して、廃棄物に関する情報提供を続けていきたいと考えております。

今後とも地域及び地球の環境保全の担い手としての強い自覚を持ち、お客様に信頼され、満足していただけるサービスを提供していく所存ですので、当公社の事業に引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般財団法人 札幌市環境事業公社
理事長 浦屋 謙

平成31年3月発行

編集・発行／一般財団法人札幌市環境事業公社
札幌市中央区北1条東1丁目 サン経成ビル

●本誌に関するご意見、ご要望等

電話 219-2053 FAX 219-0882

●事業系一般廃棄物の収集全般に関すること

電話 219-5353 FAX 219-0053

<http://www.kankyou-sapporo.jp>



この情報誌は再生紙を使用しています。